

ピアス / ¥34,000 / 人差し指 ゴールドリング / ¥86,400 / 共に ブランイリス / 共に ブランイリス エストネーション六本木ヒルズ(03-5159-7800)
中指 P+ダイヤモンドリング / ¥650,000 / TOMOKO KODERA / カシケイ(0120-106-503)

透明な空は、いつでも私たちの上に平等にある。



ピアニスト・川上ミネが誘う 「SKY BLUE」な空の旅。

飛行機に乗ると聞こえてくる、繊細で美しいピアノの調べ。

それは、ピアニストの川上ミネさんが書き下ろした一曲『SKY BLUE』。

スカイマークの就航20周年を記念して作られた楽曲について、

川上さんに話を聞きました。

特別な場に、"思い"を乗せた 音楽を作りたい

川上さん直筆の『SKY BLUE』楽譜には、音符の中に「エンジン」「雲」「星」「心」という文字が並ぶ。この世にあるすべてのものは音に変換できると語る川上さん。曲を作る時には、必ずスケッチブックにイラストを描きながらイメージを膨らませていく。画家だった両親の影響で、嬉しい時も悲しい時も、いつも絵とピアノで気持ちを表現してきた彼女ならではの作曲方法だ。

国内外を問わず飛行機に乗る機会が多くある私は、以前から各国の機内にはそれぞれの地域性を感じさせるような音楽が流れていると思っていました。搭乗した瞬間から、その独特的の空気によって旅のワクワク感が始まる。音楽は、旅を豊かにしてくれる力があるなど実感しています。そんなことをスカイマークの担当者に話し、今回のオリジナル曲を提案させていただきました。就航20周年という記念の年にピアニストとして関わったことを、とても嬉しく思います。

たくさんの人々の、それぞれの思いを乗せて一つの目的地に向かう飛行機。特別な空気感のある場所に、その"思い"を乗せた音楽を作りました。飛行機に乗つていと考えました。飛行機に乗つてい人は、誰かと別れてきたのか、向こうで親しい人が待っているのか。楽しいことがあるのかもしれないし、はたまた悲しみを抱えているのかかもしれない……。

この曲を作るときに一番大切に表現したかったのは、透明な空はいつ

でも私たちの上に平等にあるということ。どんな状況であれ、雲の上に変わらず存在しているということです。私が飛行機に乗つていて一番好きな瞬間は、雲を抜けるとき。つらい

ことがあってうつむきがちなとき、高いビルに囲まれて空が見えない生きでも、飛行機で雲を抜けると必ずそこには透明で広大な空が広がっています。そこには、透明で広大な空が広がっている。そこにこそ真実があると思いました。タイトルの『SKY BLUE』にはそんな思いを込めています。

空気や景色を音に。 作曲とは翻訳作業

でも私たちの上に平等にあるということ。どんな状況であれ、雲の上に変わらず存在しているということです。私が飛行機に乗つていて一番好きな瞬間は、雲を抜けるとき。つらいことがあってうつむきがちなとき、高いビルに囲まれて空が見えない生きでも、飛行機で雲を抜けると必ずそこには透明で広大な空が広がっています。そこには透明で広大な空が広がっている。そこにこそ真実があると思いました。タイトルの『SKY BLUE』にはそんな思いを込めています。

音楽は波動という物質になつて人の心に届くものなので、私が作るととも思っています。言葉も同じです。よね。嬉しい言葉も、そうでない言葉も、一生誰かの心に残るような大事なものになる可能性がある。だから、とても慎重にこの曲を作りました。どんなシチュエーションがいいのか、思いつく絵をイラストにして、何日も何日もスケッチブックに描き続けました。いつも楽譜をつくるよりも時間をかけるのが、イメージの部分です。

音楽は波動という物質になつて人の心に届くものなので、私が作るととも思っています。言葉も同じです。よね。嬉しい言葉も、そうでない言葉も、一生誰かの心に残るような大事なものになる可能性がある。だから、とても慎重にこの曲を作りました。どんなシチュエーションがいいのか、思いつく絵をイラストにして、何日も何日もスケッチブックに描き続けました。いつも楽譜をつくるよりも時間をかけるのが、イメージの部分です。

Profile

川上ミネ Mine Kawakami

愛知県長久手市に生まれ、3歳からピアノを始める。現在は京都とマドリードを拠点に活動しており、2013年には日本スペイン交流400年の公式ピアニストとして、テーマ曲を作曲・演奏した。www.minekawakami.com